

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年02月05日

計画の名称	北本市における下水道整備計画2015（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	北本市												
計画の目標	下水道整備を行うことで、安心して安全な災害に強いまちを創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	135	A	135	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	①中丸中継ポンプ場の長寿命化による改築更新実施率を 0% (H27) から100% (H31) に増加させる。			
	①中丸中継ポンプ場の改築更新実施率 改築更新実施箇所(箇所)/改築更新計画箇所(1箇所)	0%	26%	100%
2	②汚水管渠の耐震対策のための耐震診断実施率を 0% (H29) から 2.3% (H31) に増加させる。			
	②汚水管渠の耐震診断実施率 耐震診断実施延長 (km) /耐震化計画延長 (183.7km)	0%	0%	2%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	--------------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	北本市	直接	北本市	ポンプ場	改築	中丸中継ポンプ場改築工事	ポンプ場改築 n=1箇所	北本市	■	■	■	■	■	111		策定済	
		北本市公共下水道長寿命化計画(中丸中継ポンプ場)																		
	A07-002	下水道	一般	北本市	直接	北本市	管渠(汚水)	改築	汚水管渠耐震化事業	汚水管渠耐震診断実施 L=4, 200m	北本市					■	■	24		策定済
		北本市公共下水道総合地震対策計画																		
											小計						135			
											合計						135			

交付金の執行状況

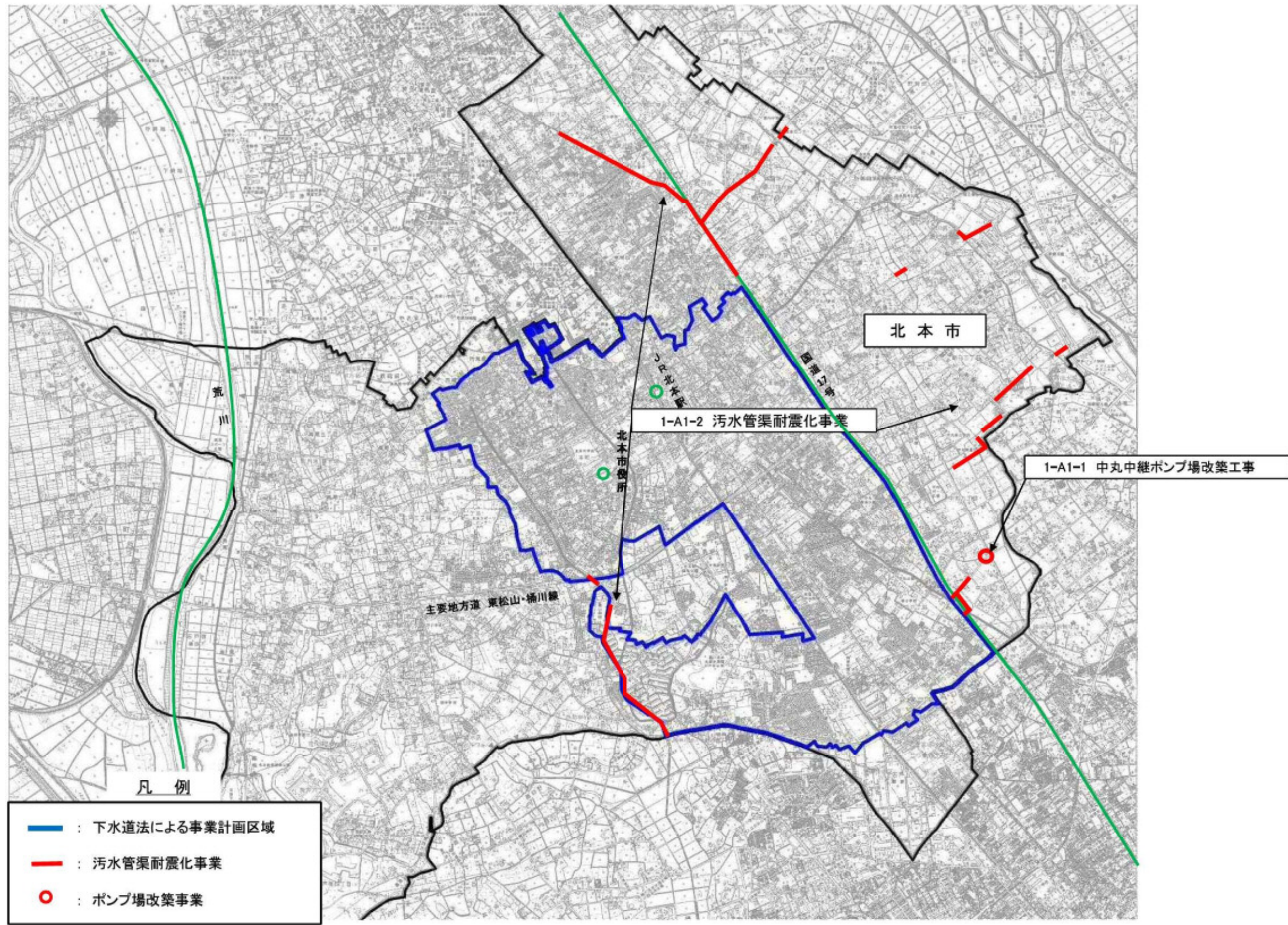
(単位：百万円)

	H27	H28	H29		
配分額 (a)	3	28	28.5		
計画別流用増△減額 (b)	0	△2	0		
交付額 (c=a+b)	3	26	28.5		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	3	26	28.5		
翌年度繰越額 (f)	0	0	0		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					



(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全)

計画の名称	北本市における下水道整備計画2015 (防災・安全)	交付対象	北本市
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)		





# 社会資本整備総合交付金チェックシート

事業主体名:北本市

計画の名称:北本市における下水道整備計画2015(防災・安全)

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
③数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
②指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
③指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
①計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
②事業実施のための環境が図られている。	○